

第23回 特別展

豊穰の神か害獣か 縄文から平安時代— 人の動物観を考える。

イノシシの 考古学



2015年

2月22日(日)~4月12日(日)

開館時間: 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 毎週火曜日

観覧料: 大人200円(団体160円) 学生100円(団体80円)

*団体は入館者20名以上、中学生以下・65歳以上、休館不自由な方とその介護者1名は無料

3月1日(日)博物館開館記念日のため、入館無料となります。

事業後援: 朝日新聞前橋総局・NHK前橋放送局・エフエム群馬・共同通信社前橋支局・時事通信社前橋支局・群馬テレビ放送・群馬よみうり新聞社・産経新聞前橋支局・東シエicomイースト前橋局・上毛新聞社・(社)群馬観光協会・東京新聞前橋支局・日本哺乳類学会・毎日新聞前橋支局・パブリッシュ出版局・読売新聞前橋支局・和ラジオ高崎

かみつけの里博物館

The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology

〒370-2634 群馬県高崎市井出町15-14 上毛野はにとの里公園内

TEL: 027-373-8880

かみつけの里博物館 検索

イノシシの考古学

— 豊穰の神か害獣か、縄文から平安時代 — 人の動物観を考える。



早春のかみ博、いのししがいっぱい。

イノシシは鹿と並ぶ野生動物である。近年では人間と動物の活動空間が重なり、農作物を荒らす害獣として駆除されることも多い。人とイノシシの付き合いは長く、神奈川県にある遺跡では約2万年前の地層から石器とその骨が発見される。縄文時代前期になると土器の装飾として表現された土器が流行し、後期以降になると動物形土製品として造形され、骨は装身具の原材料となる。古墳時代では、埴輪群像のなかに「イノシシ狩り」の場面があり、手負いのイノシシ埴輪が出土するようになる。

今回の展覧会では、縄文時代～平安時代の考古資料を中心に構成し、その時代に生きた人々の動物観(猪観)の変遷を考えてみる。



イノシシ表現の装飾がついた縄文土器
(大下原・吉田原遺跡/群馬県安中市)



イノシシ表現の装飾がついた縄文土器
(安道寺遺跡/山梨県甲州市)



イノシシ形土製品
(井野長割遺跡/千葉県佐倉市)
佐倉市教育委員会 提供



イノシシ狩の場面を表現した埴輪 狩人・犬・イノシシ形の埴輪
(保渡田VII遺跡/高崎市)



主な展示品【予定】

- イノシシ顔の獣面把手付土器(縄文時代)
- 動物形の土製品(縄文時代:11点)
- イノシシの犬歯、骨を使った装身具(縄文時代)
- イノシシの画がある銅鐸(弥生時代:2点)
- イノシシ・シカ・イヌ形の埴輪(古墳時代:10点)

特別展講座

「猪の文化史—考古学から探る人とのかわり」

新津 健さん (元山梨県埋蔵文化財センター所長)

平成27年3月22日(日)

場所: 当館研修室

時間: 午後1時30分~(終了予定時間午後3時30分)

対象: 一般の方、約80名。事前申し込みは不要。

群馬バス時刻表

高崎駅発	秋葉前発
07:50 ※	12:49
09:50	15:04
13:45	17:49

※土・日・祝日は運休
○土・日・祝日のみ運行

関連交通バス時刻表

前橋駅発	博物館発
08:40	11:32 ○
10:30 ※	11:47 ※
10:50 ○	13:17 ※
12:30 ※	13:52 ○
12:40 ○	14:57 ※
14:00 ※	15:47 ○
14:55 ○	16:57 ※
	17:37 ○
	18:27 ※



交通のご案内

- ・JR高崎駅から群馬バス「井出経由しんとう温泉・村役場行」秋葉前下車徒歩5分
- ・JR前橋駅から関連交通バス「土屋文明文学館行」かみつけの里博物館前下車すぐ
- ・JR高崎駅からタクシーで約30分・関連自転車道前橋ICから車で約20分

近隣施設

- 【群馬県立土屋文明記念文学館】高崎市保渡田町2000 TEL:027-373-7721
- 【群馬県立日本橋の里】高崎市金古町888-1 TEL:027-360-6300

かみつけの里博物館
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology

〒370-3534 群馬県高崎市井出町1514

上毛野はにわの里公園内 TEL:027-373-8880

かみつけの里博物館

検索